

2014年(平成26年)6月28日(土曜日)

増毛山道の魅力伝える

札幌市で
フェスタ 1等水準点など展示

NPO法人増毛山道の会
にわたり実施する体験トレ

(伊達東会長)主催、留萌振興局共催の増毛山道ふれあいフェスタが、21日に札幌市の札幌地下歩行空間で開かれ、歩行者は足を止めて活動写真や歴史的価値のある史料などを見つめていた。

増毛山道は、江戸時代末期の安政4年(1857年)に交易路などとして開削された、増毛町別刈と右狩市浜益区幌を結ぶ全長約37キロの山道。同会と留萌振興局が連携してササ刈りを行うなどして復元し、23年度から体験トレッキングを行っている。

同フェスタは、増毛山道の魅力を道央圏の住民に伝えるとともに、7月12日から7回



キングのPRを目的に企画した。

札幌市の札幌地下歩行空間で開かれた増毛山道ふれあいフェスタ

会場には、増毛山道の歴史をまとめた小冊子「増毛山道あれこれ」をパネルにしたものや、体験トレッキングの様子を撮影した写真などを展示。床には山道の全行程を撮影した縦80センチ、横8センチの巨大航空写真が設置され、来場者は上空からの増毛山道の眺めを体感していた。

また、実際に山道の別刈側入口に埋設されていた重さ139キロの1等水準点を展示。普段なかなか見ることのできない歴史的価値の高い史料が注目を集めていた。そのほか、会員が提供したトレッキングの動画も上映された。増毛山道の会では、8月に留萌合同庁舎1階道民ホールで同様のフェスタを開催する予定だ。

(原田学)